

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 26 陣の記録

日本語コミュニケーション、日本文化交流

対象国：シンガポール、東ティモール、ラオス

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、シンガポール、東ティモール、ラオスの日本語を学ぶ学生 57 名が、2019 年 3 月 19 日～3 月 26 日の日程で来日し、「日本語コミュニケーション、日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、都内にて文化や地域産業の視察後、各国別のグループに分かれ、シンガポールは福岡県を、東ティモールは秋田県を、ラオスは茨城県を訪問しました。各訪問地では、歴史的建造物等の日本文化及び地域産業の視察、学校交流、ホームステイ等の文化体験を行い、地域の人々との友好の絆を育むとともに、広く日本についての理解を深めました。また、一行は、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前には、外務省へ表敬訪問し、その後の成果報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】 3 か国・57 名

(内訳) シンガポール 17 名、東ティモール 18 名、ラオス 22 名

【訪問地】 東京都（全員）、秋田県（東ティモール）、茨城県（ラオス）、福岡県（シンガポール）

2. 日程

3月19日（火） 来日、【オリエンテーション】

ラオス：【文化視察】東京江戸博物館

3月20日（水） 【文化視察】池上本門寺、大田区内商店街

シンガポール：【地域産業視察】大洋塗料株式会社

東ティモール：【地域産業視察】トキワ精機株式会社

ラオス：【地域産業視察】株式会社豊中ホット研究所

3月21日（木）

シンガポール：東京都から福岡県へ移動、【文化体験】茶道（福岡市松風園）

東ティモール：東京都から秋田県へ移動、【学校交流】聖霊女子短期大学、

【文化体験】竿燈（於：ねぶり流し館）

ラオス：東京都から茨城県へ移動、【地域産業視察】アサヒビール茨城工場

3月22日（金）

シンガポール：【文化視察・体験】太宰府天満宮・木うそ色付け、櫛田神社、東長寺

【学校交流】福岡工業大学、【ホームステイ】（福岡市）

東ティモール：【地域産業視察】福祿寿酒蔵株式会社、秋田国家石油備蓄基地

【ホームステイ】（秋田県仙北市）

ラオス：【表敬訪問】守谷市役所、【学校交流】聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校、【ホームステイ】（茨城県守谷市）

3月23日（土） 【ホームステイ】

3月24日（日） 【ホームステイ】、【地域住民・関係者との交流会】、【ワークショップ（報告会準備）】、シンガポール：【視察】有料老人ホーム筑前梨ノ木城

3月25日（月） 地方から東京都へ移動

シンガポール：【文化視察】秋葉原

東ティモール、ラオス：【文化視察】東京スカイツリー

【成果報告会】

3月26日（火） 帰国

3. 記録写真

【シンガポール】（訪問地：東京都・福岡県）

	
3月19日【オリエンテーション】	3月20日【地域産業視察】大洋塗料株式会社
	
3月21日【文化体験】茶道	3月22日【文化視察】太宰府天満宮
	
3月22日【文化体験】木うそ絵付け	3月22日【学校交流】福岡工業大学

	
3月23日【ホームステイ】	3月24日【地域住民・関係者との歓送会】
	
3月24日【視察】有料老人ホーム梨ノ木城 【東ティモール】（訪問地：東京都・秋田県）	3月25日【成果報告会】
	
3月19日【オリエンテーション】	3月20日【歴史的建造物視察】池上本門寺
	
3月20日【地域産業・企業視察】 トキワ精機株式会社	3月21日【学校交流】聖霊女子短期大学
	
3月21日【文化体験】竿燈	3月22日【地域産業・企業視察】 福祿寿酒造株式会社

	
3月22日【地域産業視察】 秋田国家石油備蓄基地	3月23日【ホームステイ】
	
3月24日【ホームステイ歓送会】	3月25日【成果報告会】
【ラオス】（訪問地：東京都・茨城県）	
	
3月19日【オリエンテーション】	3月20日【文化視察】池上本門寺
	
3月20日【企業視察】 株式会社豊中ホット研究所	3月21日【企業視察】 アサヒビール茨城工場
	
3月22日【表敬訪問】守谷市役所	3月22日【学校交流】聖徳大学附属取手 聖徳女子中学校・高等学校

	
3月24日【ホームステイ歓送会】	3月25日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ シンガポール学生

オリエンテーションで日本でのルールや文化を学びました。学校交流は目を見張るような経験となりました。日本人学生との交流で日々の学生生活を教えてもらいました。このような交流の機会がなければ決して知ることはなかったと思います。企業訪問では日本の技術やビジネスがいかに築かれてきたかを知り、衝撃を受けました。また、部品がどのようにリサイクルされるかも学ぶことができました。ホームステイは最も心に残った素敵な経験になりました。日本の地方の方々の生活を経験する機会をいただきました。様々な生活習慣があることを深く知り、ますます日本の文化の素晴らしさを感じました。

◆ 東ティモール学生

トキワ精機株式会社の従業員は皆親切で、高度な機械を導入していました。聖霊女子短期大学との交流プログラムでは、日本の学生と交流できたことを嬉しく思いました。秋田国家石油備蓄基地を視察では、石油に関する新たな知識・経験を得ることができました。現在、私たちの国は産油国ですが、自力で精製することができません。今回得た経験を自国民に情報共有しようと思いました。福祿寿酒造は様々な日本酒を生産していました。米と水だけで日本酒をつくること、日本酒の醸造工程についても学びました。帰国後、習得した知識を活用して、自国で日本酒をつくれたら良いと思います。日本人は他者に対して大変親切でした。ホストファミリーは私たちの面倒をよく見てくれました。日本人はよく働き、優しく、勤勉で、日常生活にはルールがたくさんあることを知りました。

◆ ラオス学生

私は日本での経験に感激しました。このプログラムに参加できて嬉しかったです。私は日本人が好きになりました。何故なら日本人は、きちんとしたマナーを持ち、厳格な人間だからです。地下鉄は、東京には何処にでもあり、そのことに私は感激しました。また電車と同じくらいに感激したのは日本人に対してでした。私が会った日本人は性格がとても良かったので、私は日本人がもっと好きになりました。彼らは私をリスペクトしてくれました。ホストファミリーはとてもよく私の面倒をみてくれました。私は一生懸命に勉強して、大学レベルで、海外留学奨学金の試験に合格するように頑張りたいと思います。そして、JENESYS で得た素晴らしい思い出を何時までも忘れないで心の中に置き、日本は素晴らしい国だということを、ラオス国民に伝えて行きたいと思います。

5. 受入れ側高等学校の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー（福岡県福岡市）

初めて海外の学生さんを受入れました。4 名ともいい子ばかりで、新婚旅行がシンガポールでしたから、縁なのかな、と思いました。我が家の集落は、一昨年の豪雨災害で被害に遭い、我が家の畑もまだ使えないところがあります。自宅前のすももの白い花が咲いていたので、見てもらいました。綺麗と言ってもらいましたが、シンガポールにはあまり田畑はなく、また、人口は多いですが、高齢化が進んでいることを知りました。シンガポールの皆さん、また来てくれたら嬉しいです。シンガポール料理をまた作って下さい。

◆ 学生（福岡工業大学）

シンガポールの学生は、とても明るく気さくでした。共に行動した時間は、僅かではありましたが、仲良くなることができましたし、人柄が素晴らしいということを感じました。お互いの文化や学校生活についてディスカッションした時、国によって違いがあり、新たなことを知る楽しさも実感することができました。シンガポールには、多様な文化が存在しています。今回の学生の皆さんも様々な文化を持った人が参加していました。文化が違ってもシンガポールの学生同士はとても仲が良かったです。このように、シンガポールの人は、他人の文化を理解し、受け入れることができているということを感じました。

◆ ホストファミリー（秋田県仙北市）

東ティモールの学生さんに、そら豆畑に苗を植えてもらいました。その時、突然雪が降ってきて、「寒い、美しい」「寒い、美しい」ととてもうれしそうに喜んでいました。岩手県雫石町の「道の駅あねっこ」に行きました。夜は、1 年間の農業についてたくさん話をし、皆で交流を楽しみました。

◆ ホストファミリー（茨城県守谷市）

今回はラオスの引率者を受入れました。彼は英語が堪能なのでコミュニケーションがよく取れました。お互いに写真を見せ合って家族や友達の紹介をしました。食器運びを手伝ってくれたり、布団もたたんでくれたりして助かりました。短期間でしたが充実した内容だったと思います。

◆ 学生（聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校）

私は、海外から来た方との交流は今年度 3 回目です。これまでに、所属する箏曲部で、箏や三味線の演奏をしましたが、海外からのお客さまと会話する機会は少なかったのが、今回は、英語のスピーキング力を高め、積極的に話しかけるように努力しました。実際にラオスの学生さんと会って、楽しく会話ができてよかったです。数名の方と Instagram のアカウントを交換し、現在もやりとりを続けています。ラオスの皆さんは英語を使うことに慣れていて、私も見習いたいと思いました。日本人は控え目ですが、ラオスの皆さんが積極的に話す様子にも刺激を受けました。箏や三味線などの日本の文化など、親しく会話をした学生さんから、ラオスの伝統楽器のキーホルダーをいただき、とても嬉しかったです。今回の交流を通して、これまで以上に英語を積極的に学び、多くの国を訪れてみたいと感じました。

6. 参加者の対外発信

		
(シンガポール青年) マスキングカラーを使ったワークショップを通して、大田区の塗料企業のものづくりについて多くを学びました。	(東ティモール青年) 池上本門寺でボランティアガイドさんから、五重塔や手水舎などの説明を受けました。	(ラオス青年) もうすぐ日本ともお別れ。私は、今まで出会ったことのない多くの新しい経験を楽しんだ。私にニューワールドを創ってくれたこのプログラムに感謝します。関係者の皆様ありがとう！いつか日本に帰って来ることを願い、自己啓発を続けます。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

【シンガポール】①所属学校（Temasek Polytechnic）の先生と学生を対象に、日本文化を紹介するためのポスターを作成し、掲示します。②所属学校（Temasek Polytechnic）の先生と学生を対象に、日本文化紹介のゲームと活動を行います。具体的には、2019年4月に、日本コンベンションセンター及び Temasek Polytechnic の図書室で実施します。	
【東ティモール】①Facebook や WhatsApp、日本についての情報や気付き・学び・経験を発信します。②ワークショップやセミナーを開いて、多くの人に、日本の情報や経験を共有していきます。例えば、日本人気質について（他人を敬う、時間を守る、勤勉、親切など）	Convey information and experience through social networking services. Social networking that we use to convey the information such as: facebook page and whatsapp group. 
【ラオス】タイトル「Tokyo, Moriya-Laos Friendship (TMLF)」 ① JENESYS プログラム参加に関心を持っているラオスの高校生、大学生に向けて、ビデオやコンテンツを制作します。内容は、「日本の伝統文化の保護」「国の発展と環境保全」「ゼロエミッション」「日本の躰やマナー」「日本人の礼儀正しさやフレンドシップ」とします。②JENESYS への参加を促し、日本の文化を奨励するために Facebook を活用します。	The Project Title: Tokyo, Moriya-Laos Friendship (TMLF) What: Create Video and Content The Content of Video and Facebook Page Message will be focus on three point: - Introduce Japanese traditional culture - Help Japanese companies and industries - Our dream - The Japanese character and nature - Experience and 10 minutes of Japanese page 